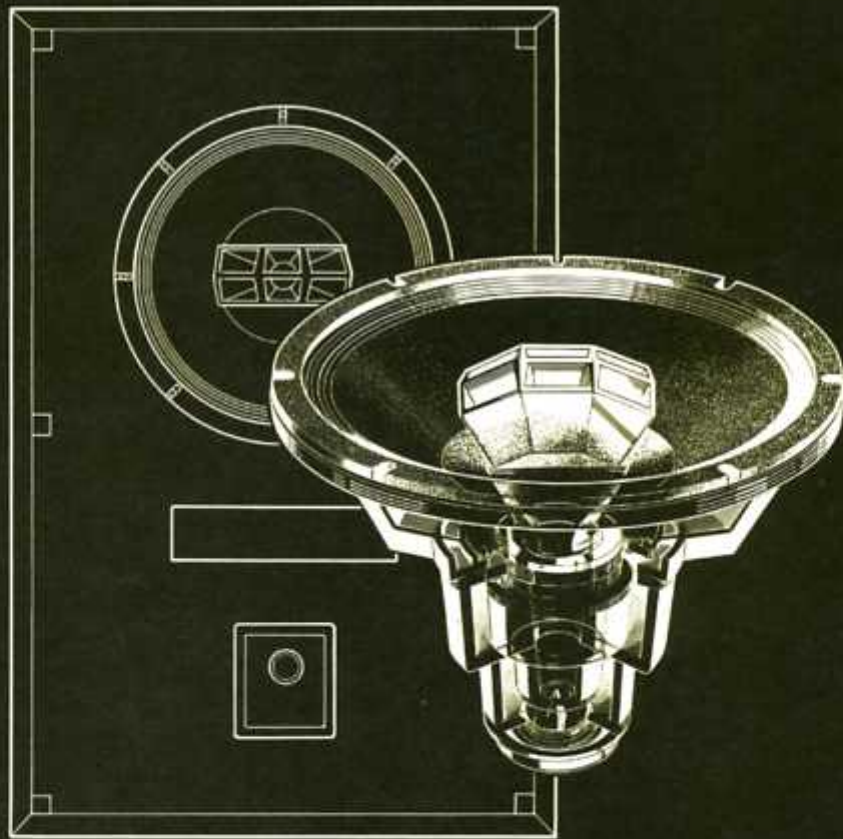




620A

Monitor



ALTEC STUDIO MONITOR SPEAKER SYSTEMS

ALTEC
LANSING

プロモニターの白眉。 真の音楽を聴き分ける モニターシステム。

620A Monitor

レコーディング・エンジニアが録音について語るとき、そのバックグラウンドに、かならず登場してくるのがALTECの604シリーズあるいは、一連のプロモニターシステムであることには論を持ちません。

ALTECのモニタースピーカーは、録音プロジェクトの重要なチェックポイントには不可決なものとして、音楽のカタチを刻明に把えることのできるいわばプロの必需品として、エンジニアの方々に賞賛され、今や全世界の放送局、録音スタジオ、ホール音響システム等の用途に活躍し続けています。その理由は、ALTEC 604シリーズが現存するスピーカー中でも、最も歴史あるものであり、プロモニター中の白眉ともいえる完成し尽くされた構造形体をもつものとされ、真の音楽に容易にインパクトできるという、モニターの理想条件を充分満足するに他ならないからでしょう。

同軸複合構造でのみ成し得た、音像を目で把えることのできるほどの定位感と、位相差の少ない再生音場、さらに「独特のトーンキャラクターをもつスピーカーはモニターには不向き」とプロのエンジニアが言われるように、モニターとして不可決な、入力ソースすなわち音楽に余分なカラリゼーションを生じないなどの理由から、604シリーズは世界のリプロデュース・スタンダードとしての

地位を確立し、認められています。

音楽の情報量の大部分は、中音域に集中しています。604Eの定評ある中音域のベーシックなよさを継承し、'75年に発表されたシリーズの頂点に立つ、最新鋭604-8Gは、従来の合金ダイアフラム一体エッジの音の切れ味のよさはそのままに、振動マスの軽量化により、ワイドレンジ特性、過渡応答特性の向上を計ったハイチューンモデルとして、プロ業界にセンセーショナルな話題を巻き起しました。それも620Aという最適なモニターエンクロージャーとの絶妙のコンビネーションがあったからこそ得られた秀逸な諸特性であり、特にローエンドの伸びは、従来のシステムを遙に上回り、優に1オクターブを超えています。

現在欧米では、プロの録音スタジオルームも落ち着いた木目調のインテリアに移行しつつあります。その感覚を率先して取り入れた620Aモニターシステムは、明るいオーク仕上げのエンクロージャーと彫りの深いブラウンのメッシュグリルをもつ洗練されたプロポジションが特に印象的です。そしてALTECの伝統に基づく最新技術が成し遂げた卓抜な性能は、プロのエンジニアの方の過酷な条件にも、さらに、高度の音楽ファンの微妙なニュアンスと多彩な表現を重んじる要求にも、充分答えられる音楽尊重のモニターシステムです。

620A Sp

再生周波数帯域
許容入力(連続)
インピーダンス
音圧レベル(新)
クロスオーバー
外形寸法(H×
重量
ユニット構成

新着のビル
計による、
スタジオの
システムの
次の通りで

★ALTEC
JBL
EV...
KLH
AR...
TAN

この数値は
が、いかに
頼られ、実
を、如実に

